

テーマ展「名護屋城物語」開催計画（案）

<p>展覧会名称</p>	<p>名護屋城物語</p>
<p>開催の趣旨と内容</p>	<p>趣旨 名護屋城について深く学んでいない子供たちをはじめ、歴史に関心の薄い来館者にも、往時の名護屋城の魅力やすごさ、大切に保存・活用されている現状などを、資料ばかりでなくイラスト等も活用し、わかりやすく紹介することを目的とする。</p> <p>内容 推理小説のように、名護屋城に何があったのかを読み解いていく。 —今は崩れた石垣のみが残る名護屋城跡。なぜ城がないのか、この場所で一体何があったのか— を築城の背景や過程、往時の名護屋城や廃城後と順を追って紹介していくことで、最終的に特別史跡名護屋城跡並陣跡の重要性と、長く人々に愛されてきたということにつなげる。</p> <p>対象年齢：小学校高学年～中学生</p>
<p>会期</p>	<p>令和5年（2024年）3月15日～5月12日</p>
<p>展示会場</p>	<p>名護屋城博物館2階 企画展示室</p>
<p>主催</p>	<p>名護屋城博物館</p>
<p>展示構成</p>	<p>導入 名護屋城跡の現在の写真 キャッチコピー 「なぜ城がないのか…失われた城の謎に迫る」</p> <p>プロローグ 豊臣秀吉と文禄・慶長の役の開始について説明 名護屋城を建てるに至った経緯の説明（名護屋が選ばれた説の紹介等）</p> <p>Episode 1 桃山の粋を集めた鉄壁の巨城 名護屋城が築城される過程や、構造における重要なポイント、茶室や絵画・金箔瓦等桃山文化に関する部分を豊臣秀吉・黒田官兵衛・加藤清正等の証言により説明。 軍事的な面と文化的な面とを併せ持つ城であったことを示唆。 （肖像画以外に用いるイラスト：城の縄張り図）</p> <p>Episode 2 秀吉や大名の雅な交流 秀吉をはじめ、大名たちが茶の湯や能などの文化的交流を行っていたことを紹介。</p>

	<p>トピック1 よみがえる草庵茶室 令和6年3月に復元される草庵茶室について</p> <p>トピック2 名護屋と南蛮文化 明国使節団や南蛮人など、「外国人」も訪れる、 名護屋の重要性について紹介 (肖像画以外に用いるイラスト：城下町のイラスト)</p> <p>Episode 3 秀吉の死といくさの終わり 秀吉の死と終戦、名護屋城はその後どうなったのか。建物の移築・破却など、名護屋城の城としての「最期」を紹介</p> <p>Episode 4 終わらない物語 江戸時代～現代まで、物語の中や観光地として取り上げられるようになった名護屋城跡の姿や、現在も継続して行われている発掘調査や整備事業について紹介</p> <p>エピローグ 名護屋城でのイベントや花見をする人の写真など 今も多くの人に愛されている様子を示し、城の建物がなくても大切にされていることを示唆する</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・豊臣秀吉・徳川家康・黒田官兵衛・加藤清正・神屋宗湛・フロイス・調査担当者(発掘調査担当者もしくは学芸員)等のイラストを作成し、当事者である彼らから名護屋城を紹介していくことで、子供たちにも親しみやすく名護屋城について紹介していく。 ・城や城下町のイラストを使用することで、ヴィジュアル的に状況のイメージをしやすくする
関連イベント	3月17日(日) 13:30~15:00 なごや歴史講座「名護屋城の物語」